

体罰等に関する全校アンケート調査結果の分析について（中間まとめ）

1 趣旨

体罰等に関するアンケート調査は、体罰や不適切な指導に関する実態把握を行い、これら行為の防止、根絶に向けた取り組みに役立てる趣旨で、昨年度、全市立学校の児童生徒・保護者に対し行った。

この回答を受け、事実確認の作業も経て、別添資料「体罰等に関する全校アンケート調査の集計等の状況について」に示すとおり、体罰・不適切な指導が把握された。

これらから、体罰・不適切な指導が、授業・部活動等どのような状況で起きているのか、また、教員がどのような心理状況になったときに起きがちなのかなどをより詳細に分析・整理し、そうした結果を研修に反映させるなどして、体罰等の根絶がさらに教員に浸透するよう取り組みを進めることとする。

2 分析の方法

学校及び教育委員会事務局において「体罰」及び「不適切な指導」として確認した事案について、校種ごとに、教員や児童・生徒の属性や状況、学校・学級等の状況等を、調査結果や学校からの事実確認の報告をもとに整理する。

このデータの整理を行いながら、体罰・不適切な指導を行う教員やその状況等に共通点や一定の傾向が見いだせないかを分析する。

3 データの整理

以下、主な項目について、現段階でデータを分類・整理した結果を示す。

① 教員の年代・性別

【体罰】 (人)

年代	小学校		中学校		高等学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
20代	4	1	2	0	0	0	6	1
30代	8	1	3	0	0	0	11	1
40代	2	0	2	0	0	0	4	0
50代	6	6	3	0	2	0	11	6
60代	4	1	0	0	0	0	4	1
不明	1	0	0	0	0	0	1	0
計	25	9	10	0	2	0	37	9

- ・ 中学校・高校において体罰を行った教員は全て男性であり、小学校でも全体の7割を超えている。

【不適切な指導】

(人)

年代	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20代	8	9	7	1	0	0	0	0	15	10
30代	13	14	15	2	0	0	0	1	28	17
40代	12	20	12	4	0	0	0	1	24	25
50代	21	32	14	10	1	0	1	0	37	42
60代	8	5	3	0	0	0	0	0	11	5
不明	0	0	0	1	1 (行為者不明)		0	0	0	1
計	62	80	51	18	2 (男1, 行為者不明1)		1	2	115	100

* 行為者不明は合計から除く

- ・ 小学校では女性教員による不適切な指導の比率が高く、中学校でも一定数見られる。
- ・ 年齢層の高い教員による不適切な指導が多い。

※ 体罰・不適切な指導とも、教員の年齢や経験年数による傾向等を、さらに他の項目とリンクさせるなどして、分析する必要がある。

② 児童生徒との関わり

中学校で部活動顧問による体罰・不適切な指導が目立つ。

【体罰】

(人)

関わり	小学校		中学校		高等学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
担任	21	9	1	0	0	0	22	9
担任外	2	0	6	0	1	0	9	0
部活顧問	0	0	3	0	1	0	4	0
その他	2	0	0	0	0	0	2	0
計	25	9	10	0	2	0	37	9

【不適切な指導】

(人)

関わり	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
担任	53	76	9	2	0	0	0	2	62	80
担任外	6	3	11	7	1	0	1	0	19	10
部活顧問	0	1	27	6	0	0	0	0	27	7
その他	3	0	4	3	1 (行為者不明)		0	0	7	3
計	62	80	51	18	2 (男1, 行為者不明1)		1	2	115	100

* 行為者不明は合計から除く

※ 授業や部活動等、具体的な学校活動の中で、児童生徒との関わりや教員の状況がどのようなものであったかをさらに詳細に分析する必要がある。

③ 時間・学校活動等

【体罰】

(件)

活動	小学校	中学校	高等学校	計
授業中	26	7	1	34
休み時間	2	0	0	2
放課後	2	1	0	3
部活動	0	3	1	4
学校行事	3	1	0	4
その他・不明	2	0	0	2
計	35	12	2	49

- ・ 小学校・中学校とも授業中の体罰が多い。

【不適切な指導】

(件)

活動	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
授業中	104	26	0	0	130
休み時間	8	1	0	0	9
給食	14	0	0	0	14
掃除	3	1	0	0	4
放課後	4	5	1	0	10
部活動	1	32	1	0	34
ホームルーム	1	2	0	0	3
その他・不明	18	14	0	2	34
計	153	81	2	2	238

- ・ 小学校では、授業中に多く発生しているが、給食時間での不適切な指導も見られる。
- ・ 中学校では、授業中とともに部活動での不適切な指導が目立つ。

※ 具体的な学校活動の中で、児童生徒との関わりや教員の状況がどのようなものであったかをさらに詳細に分析する必要がある。

④ 場所

③の「時間・学校活動等」の結果が概ね反映されている。

【体罰】

(件)

場所	小学校	中学校	高等学校	計
教室	26	8	0	34
運動場等	2	2	2	6
廊下	1	0	0	1
その他	6	2	0	8
計	35	12	2	49

【不適切な指導】

(件)

場所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
教室	130	30	1	1	162
運動場等	5	28	0	0	33
廊下	2	4	0	0	6
その他	16	19	1	1	37
計	153	81	2	2	238

※ 児童生徒との関わりや教員の状況と学校活動の場所との関係を、さらに詳細に分析する必要がある。

⑤ 児童生徒の学年・性別

【体罰】

(人)

学年	小学校			中学校			高等学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年生	5	0	5	6	1	7	1	0	1
2年生	5	1	6	6	0	6	2	0	2
3年生	4	0	4	0	0	0	0	0	0
4年生	8	0	8						
5年生	12	0	12						
6年生	3	0	3						
特別支援学級	2	0	2	0	0	0			
計	39	1	40	12	1	13	3	0	3

- ・ 小学校・中学校・高校とも男子に対する体罰が多い。
- ・ 小学校では4、5年生が多く、中学校では、1、2年生が多い。

【不適切な指導】

学年	小学校				中学校				高等学校				特別支援学校(高等部)			
	男	女	不明	計	男	女	不明	計	男	女	不明	計	男	女	不明	計
1年生	8	6	0	14	9	14	1	24	0	0	0	0	1	1	0	2
2年生	14	3	1	18	20	5	2	27	1	0	0	1	0	0	0	0
3年生	15	5	0	20	6	3	2	11	1	0	0	1	0	0	0	0
4年生	16	9	0	25					0	0	0	0				
5年生	12	3	2	17												
6年生	4	1	2	7												
特別支援学級	9	0	0	9	0	0	1	1								
学年不明	3	1	2	6	1	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0
計	81	28	7	116	36	22	11	69	2	0	0	2	1	1	0	2

- ・ 不適切な指導も男子に対するものが多いが、女子に対しても一定数行われている。
- ・ 中学校では、1、2年生が多い。

※ 児童・生徒の発達段階や年齢での行動傾向等との関係については、さらに他の項目とリンクさせるなどして分析する必要がある。

⑥ 学級規模（授業中に事案が発生したもの）

【体罰】

(件)

学級の人数	小学校	中学校	高等学校	計
10人以下	1	0	0	1
11～15人	0	0	0	0
16～20人	1	0	0	1
21～25人	2	0	0	2
26～30人	9	0	0	9
31～35人	10	4	0	14
36人以上	3	3	1	7
計	26	7	1	34

（＊ 不適切な指導については、現在、整理・集計作業中）

※ 学級の人数だけではなく、個々の事案における児童生徒との関係性や業務の状況が与える影響なども加えて分析する必要がある。

⑦ 学校規模

【体罰】

(件)

学級数	小学校	中学校	高等学校	計
9学級以下	3	0	0	3
10～14学級	10	4	0	14
15～19学級	11	3	0	14
20学級以上	11	5	2	18
計	35	12	2	49

【不適切な指導】

(件)

学級数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
9学級以下	11	12	1	0	24
10～14学級	43	44	0	2	89
15～19学級	24	10	1	0	35
20学級以上	75	15	0	0	90
計	153	81	2	2	238

※ 学校の規模だけではなく、個々の事案における児童生徒との関係性や業務の状況が与える影響なども加えて分析する必要がある。

⑧ 教員の認識について

体罰・不適切な指導とも、全ての校種において、多くの教員が指導の一環のつもりで行ったとの認識を示している。一方、不適切な指導においては、感情的になったとの認識を示すものも多くなっている。

【体罰】

(件)

認識	小学校	中学校	高等学校	計
指導の一環のつもりだった	28	11	2	41
感情的になった	5	1	0	6
制止のつもりだった	2	0	0	2
計	35	12	2	49

【不適切な指導】

(件)

認識	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
指導の一環のつもりだった	132	53	1	2	188
感情的になった	15	21	0	0	36
制止のつもりだった	2	0	0	0	2
その他	4	7	1	0	12
計	153	81	2	2	238

※ どうして体罰・不適切な指導を行ったか、そもそもの体罰や不適切な指導への認識などに加え、児童生徒の状況や周辺環境等が教員の心の動きにどのように影響を与えていたのかなどにも目を向けた詳細な分析が必要と思われる。

4 今後の方向性

体罰・不適切な指導を行った際の状況、教員の心理などをさらに詳しく把握し、分析・整理することを継続して行う。

それらの結果を踏まえて、これまでの体罰・不適切な指導の防止に向けた取り組みに加え、

- ・ 体罰・不適切な指導につながった具体例を示しながら、そこに至る教員自身の心の動きを客観視できるようにする
- ・ 体罰・不適切な指導を行いがちな状況に陥らないよう、様々な状況に応じた指導スキルを向上させる
- ・ 体罰・不適切な指導を行いがちな外的要因がある場合には、それを取り除くよう努める

などの視点を持ちながら、これまでの研修等では不十分だった部分をより強化していく具体的な取り組みを検討していく。

【参考資料】

※ 表中の数値は、いずれも平成 29 年 5 月 1 日現在

○ 仙台市立学校における年代別教員数 [資料 4 1 / 6 ページ 3 ① 参考]

(人)

年代	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20代	149 (3.6%)	294 (7.1%)	113 (2.7%)	91 (2.2%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	7 (0.2%)	268 (6.5%)	395 (9.6%)
30代	222 (5.4%)	352 (8.6%)	210 (5.1%)	163 (4.0%)	15 (0.4%)	5 (0.1%)	3 (0.1%)	4 (0.1%)	450 (10.9%)	524 (12.7%)
40代	177 (4.3%)	271 (6.6%)	157 (3.8%)	149 (3.6%)	55 (1.3%)	17 (0.4%)	9 (0.2%)	17 (0.4%)	398 (9.7%)	454 (11.0%)
50代	265 (6.4%)	477 (11.6%)	267 (6.5%)	244 (5.9%)	105 (2.6%)	21 (0.5%)	13 (0.3%)	12 (0.3%)	650 (15.8%)	754 (18.3%)
60代	60 (1.5%)	72 (1.7%)	45 (1.1%)	24 (0.6%)	15 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	5 (0.1%)	121 (2.9%)	101 (2.5%)
計	873 (21.2%)	1,466 (35.6%)	792 (19.2%)	671 (16.3%)	193 (4.7%)	46 (1.1%)	29 (0.7%)	45 (1.1%)	1,887 (45.9%)	2,228 (54.1%)
	2,339 (56.8%)		1,463 (35.6%)		239 (5.8%)		74 (1.9%)		4,115 (100%)	

※ 校長、教頭、主幹教諭、養護教諭、栄養教諭を除く

○ 仙台市立学校における学年別・男女別児童生徒数 [資料 4 4 / 6 ページ 3 ⑤ 参考]

(人)

学年	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校 (高等部)		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年生	4,490 (5.6%)	4,285 (5.3%)	4,141 (5.1%)	3,937 (4.9%)	523 (0.6%)	395 (0.5%)	14 (0.1%)	8 (0.1%)	9,168 (11.4%)	8,625 (10.7%)
2年生	4,479 (5.6%)	4,273 (5.3%)	4,413 (5.5%)	4,163 (5.2%)	522 (0.6%)	403 (0.5%)	14 (0.1%)	6 (0.1%)	9,428 (11.7%)	8,845 (11.0%)
3年生	4,558 (5.7%)	4,414 (5.5%)	4,398 (5.5%)	4,156 (5.2%)	515 (0.6%)	378 (0.5%)	11 (0.1%)	8 (0.1%)	9,482 (11.8%)	8,956 (11.1%)
4年生	4,601 (5.7%)	4,251 (5.3%)			36 (0.1%)	20 (0.1%)			4,637 (5.8%)	4,271 (5.3%)
5年生	4,524 (5.6%)	4,225 (5.2%)							4,524 (5.6%)	4,225 (5.2%)
6年生	4,366 (5.4%)	4,041 (5.0%)							4,366 (5.4%)	4,041 (5.0%)
計	27,018 (33.5%)	25,489 (31.6%)	12,952 (16.1%)	12,256 (15.2%)	1,596 (1.9%)	1,196 (1.5%)	39 (0.1%)	22 (0.1%)	41,605 (51.6%)	38,963 (48.4%)
	52,507 (65.1%)		25,208 (31.3%)		2,792 (3.4%)		61 (0.1%)		80,568 (100%)	

○規模別学級数 [資料4 5 / 6 ページ3⑥ 参考]

(学級)

学級の人数	小学校	中学校	高等学校	計
10人以下	44 (1.7%)	0 (0%)	9 (0.3%)	53 (2.1%)
11～15人	14 (0.5%)	3 (0.1%)	12 (0.5%)	29 (1.1%)
16～20人	31 (1.2%)	4 (0.2%)	4 (0.2%)	39 (1.5%)
21～25人	179 (7.0%)	34 (1.3%)	5 (0.2%)	218 (8.5%)
26～30人	578 (22.5%)	84 (3.3%)	5 (0.2%)	667 (26.0%)
31～35人	662 (25.7%)	366 (14.2%)	36 (1.4%)	1,064 (41.4%)
36人以上	220 (8.6%)	258 (10.0%)	25 (1.0%)	503 (19.5%)
計	1,728 (67.2%)	749 (29.1%)	96 (3.7%)	2,573 (100%)

○規模別学校数 [資料4 5 / 6 ページ3⑦ 参考]

(校)

学級数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
9学級以下	23 (12.0%)	25 (13.0%)	1 (0.5%)		49 (25.5%)
10～14学級	44 (22.9%)	23 (12.0%)	0 (0%)	2 (1.0%)	69 (35.9%)
15～19学級	34 (17.7%)	12 (6.3%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	48 (25.0%)
20学級以上	19 (9.9%)	4 (2.1%)	3 (1.6%)		26 (13.5%)
計	120 (62.5%)	64 (33.3%)	5 (2.6%)	3 (1.6%)	192 (100%)

※1 全日制と定時制の課程を持つ高等学校は、それぞれを1校として計上している。

※2 特別支援学校の小・中学部、高等部は、それぞれの課程を1校として計上している。